

木田市長の

どろんどろん
コミュニケーション



伊勢志摩サミット

Vol.112

来年のサミットが伊勢志摩で開催されることが決まりました。本当に良かったと思います。多くの候補地の中から伊勢志摩を選んでいただいたということ、安倍総理はじめお世話になった方々に、お礼を言いたいです。一緒に上京してほしいと、知事から三市一町の首長に要請がありました。その日は伊勢市長、志摩市長、南伊勢町長は三人とも都合が悪く、一人も行けないということでした。これでは知事に申し訳ないと考え、一般質問の打ち合わせという大事な仕事をキャンセルして同行しました。安倍総理、菅官房長官、山合国家公安委員長、斉木外務事務次官、谷垣自民党幹事長、そして山口公明党

代表など数多くの要人にスムーズに会ってきました。さすがに知事が会いに行かれると違うなと感じました。私たちだけではこうはいきません。開催地が決定されるまでの経緯については、いろいろと取りざたされました。一番初めに入ってきた情報は、閣僚会議の誘致に手をあげていた三重県に対し国のほうからサミット誘致に切り替えるように言ってきたから、間違いなく伊勢志摩が有利だということでした。その後、軽井沢、広島、神戸などが次々と有力地として名があがってきました。伊勢志摩では自信から不安に変わりつつあるように感じていましたが、そんな時、発表があり、みんながほっと

したというわけです。知事が総理から直接聞いた話では、総理は最後の最後まで、伊勢志摩と仙台の間で悩んだということでした。総理は伊勢神宮に大きな思い入れがあり、決定打は神宮の存在であると、私は感じました。

開催地が発表される直前、総理から知事に電話があり、伊勢志摩に決まったことと、正式名はどうするかという問い合わせがあったそうです。新聞では賢島サミットという文字もすでに踊っていました。賢島では知名度も低いし、鳥羽や伊勢も困るなと感じていました。伊勢志摩サミットが正式名と決まっても、鳥羽の名がでてこない、よくご意見をもらいますが、これは仕方ありません。これまでも伊勢志摩国立公園という呼び名の中で、鳥羽という文字は出てこなくてもここまで頑張ってきたわけですから、今回も鳥羽からの情報発信をしっかりとやろうと考えています。

真珠養殖発祥の地、日本一海女の多い町そしてミキモト真珠の本拠地であることを前面に掲げ、鳥羽で開催されるというくらいの意気込みで進みましょう。

大切なものは



Vol.139

みなさんは、アウエアネス・リボンをご存知ですか。アウエアネス・リボンとは、輪状に折った短い一片のリボンやそれを描いた絵などのことで、それを身に付けることで社会問題や運動に、さりげない支援や賛同の声明を出す方法として世界各地で使用されています。

リボンの色にはさまざまな意味があり、有名なものとしては、ピンクリボン（乳がんの予防・啓発）やレッドリボン（エイズの理解・支援）、オレンジリボン（児童虐待防止）です。

リボンの色と意味は国内外でさまざまであり、ブルーリボンは、インターネットでの言論の自由の支持・擁護です。

が、日本では、北朝鮮による日本人拉致問題被害者の生存を信じ救出を願うといった意味があります。

このリボンの中で、透明で合成樹脂のリボンがあります。どのような意味があるリボンだと思われますか？この透明なリボンは、外見では分らない病气や障がい、日常生活を送ることが困難な「見えない障がい」に苦しむ人たちを支援・協力することを目的に作られました。

このリボンの特徴として、障がいを持つ当事者は小さな赤いハートマークがついています。また、リボンには、サン・テグジュペリの『星の子様』の一文『大切なものは目に見えない』が書かれています。このリボンは、「何かをしてほしい、配慮してほしい」ではなく「障がいを抱えていることを職場や学校で言えないでいることを知ってほしい」「コミュニケーションのきっかけになれば」といった思い込めばいいです。

みなさんの周りでも、目に見えない障がいを持った人が苦しんでいるかもしれません。理解することは、人にやさしくできる、はじめの一歩だと思いませんか。